

「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」

急な大雨・雷・竜巻 夏は積乱雲による大雨が多い季節です！



急な大雨では、あっという間に川の水が増え、流れが激しくなります。

川のそばからはなれて！



雷は木に落ちることもあります。木のそばからはなれて！



竜巻が近づくと人や車も飛ばされます。じょうぶな建物へひなんして！

詳しくは

災害から身を守ろう

検索

7月になって九州北部は梅雨前線や台風第8号により大雨となりました。福岡県内のほとんどの地域で、いつもの7月の1か月分くらいの雨がすでにふりました。梅雨があけると、晴れの天気が多くなりますが、急に天気を変えてしまう積乱雲が多く発生します。晴れていても積乱雲が発生しそうな日には、气象台が雷注意報を発表しますので、このときは特に急な大雨・雷・竜巻に注意しましょう。

「馬の背」の右と左は大違い

局地的な大雨とは？

天気予報を聞いてみると「局地的」な大雨という言葉がよく出てきます。代表的なものが、夏の晴れた日の午後、急に雨がふる夕立です。昔から「夕立は馬の背を分ける」と言われているように、せまい範囲で大雨がふっている場所と、雨がまったくふっていない場所に分かれます。右の写真のように、積乱雲があるところだけが大雨になることから、場所が限定されるという意味で、局地的な大雨と呼んでいます。現在の科学技術では、局地的な大雨をもたらす積乱雲が「いつ」「どこで」発生するかを正確に予測することはできません。しかし、福岡県のどこかで局地的な大雨がおきそうなのは、天気予報で伝えることができます。

おおあめ うえ 大雨の上には、こんな積乱雲がある!?

局地的な大雨
写真中央の線で囲んだ場所は大雨、それ以外の場所は雨がふっていません。

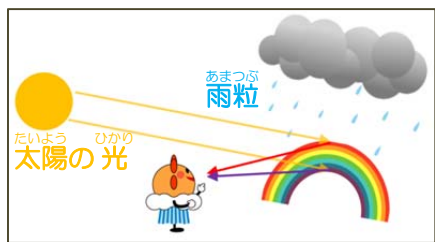
- 注意**
- 屋外でのイベントは、事前に天気予報を確認しましょう！
 - 天気予報で注意したいキーワード、「大気の状態が不安定」「雷」「竜巻・突風」
 - 空の変化を感じたら、「真っ黒い雲」「雷の音」「急な冷たい風」は、しばらく避難！

夕立のあとは…

夕立のあとに、雨がやんで太陽がでてきた時は、太陽と反対の方向を見てみましょう。

雲がよければ、きれいな虹を見つけることができるかもしれません。

太陽の光には、赤・青・紫など、いろいろな色の光が含まれています。太陽の光が、雨粒にぶつくと、それぞれの色がことなる方向に、はねかえることで、きれいな虹をつくりあげます。



2014年	7月16日	水曜日
平成26年		
福岡管区気象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

「お天気Q&A」

Q: 雷から身を守る方法は？

A: 雷は、高いものに落ちます。運動場やプール、海など、まわりに高いものが無いところや、山の上など高いところでは、雷は人に落ちやすくなります。

また、高い木の近くで雨宿りをすることも危険です。木に雷が落ちると、近くにいる人にも伝わります。

雷による被害は毎年発生しています。外にいるときに雷がなったら、できるだけ早く建物や車の中に避難しましょう。

気象情報へのアクセス

災害から身を守ろう	検索	
防災気象情報へのアクセス	検索	